



あ め く っ こ だ よ り

# 天久っ子便り

## 第9号

令和3年5月24日(月)

発行者：校長 宮里 寿子

## 緊急事態宣言発令！感染症対策の徹底を ～引き続き、ご家庭での健康管理をお願いします～

昨日より沖縄県に「緊急事態宣言」が発令されましたが、学校においては、「学習活動を工夫しながら、可能な限り学校教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障すること」とあります。なので、現時点で臨時休校等の措置はありませんが、学校現場では、感染に関しては、従来株と比較すると変異株の子どもへの感染力の強さを感じています。これまでは、家庭内で感染が見られても児童本人は「陰性」となる場合が多かったのですが、今年度に入り、児童本人も「陽性」のケースが増えています。幸い、本校の場合も散発的に感染が見られるものの、同居家族に風邪症状（発熱、体調不良等）があったため、本人発症前に欠席していること、また、学校内での感染対策も徹底されていたため、学校教育活動中における濃厚接触者はなく、感染拡大防止に繋がりました。引き続き、下記についてご協力をお願い致します。

- 1、児童に風邪症状（発熱、咳、だるさ、のどの痛み等）がある場合、登校しない。
- 2、同居家族に発熱や風邪症状がある場合、登校しない。
- 3、マスク着用（但し、熱中症などの健康被害が発生する恐れがある場合は外す。熱中症優先）

## 安岡中学校区 小中一貫合同研修会

～講話「子どもたちの『自立』に向けたキャリア教育の推進」～

那覇市の教育施策の一つに「小中一貫教育の推進」があります。そのため、安謝小、曙小、銘苅小を含めた安岡中学校区の5校で、「キャリア教育の推進」をテーマに合同研修会や合同授業研究会を行い、授業改善や学級経営・生徒指導の共通実践に取り組んでいます。

今年度、第1回目の小中一貫合同研修会が5月17日(月)に行われました。オンラインでの開催となりましたが、沖縄県教育庁義務教育課の山内かおり指導主事を招聘して、「沖縄県の子どもたちの『自立』に向けたキャリア教育の推進について」の講話があり、沖縄県におけるキャリア教育の目標やめざす児童生徒像についてお話を聞きました。その中で印象に残っているのが、「沖縄の子どもたちは、目標達成に向けて具体的に『行動』し、『努力を継続する』、という点で課題がある。めざす子ども像を、『自分で考え、計画して、行動に移すことのできる児童生徒』とし、授業で4つの力、「かかわる力」「ふり返る力」「やり抜く力」「みとおす力」、『かふやみ』を意識した授業を展開してほしい！」というお話でした。今年度、安岡中学校校区の授業改善の視点として、「かふやみ」と関連付けることが、共通実践事項となっています。

講演会の後は、授業改善部、学級経営部、生徒支援部、特別支援部の4つに分かれて、今年度の共通実践事項を再確認と情報交換を行い、実り多い研修会となりました。

